平成１５年度北海道遺産構想推進協議会事業報告

１　事業概要

平成１５年度においては、平成１３年１０月に選定された北海道遺産２５件について、一層の知名度向上を図り、ブランド価値を確立するとともに、北海道遺産の第２回目の選定を多数の道民参加を得ながら着実に進めていくこと、さらには、北海道遺産構想を息の長い道民運動として定着させるため、北海道遺産の所在地域が中心となって構想を推進していく環境をどのように整えるかを重点課題とした。

このため、北海道遺産構想推進協議会(以下「協議会」)や民間企業等、さらには北海道遺産の所在地域が一体となって、①新たな北海道遺産の選定作業、②北海道遺産構想及び第１回選定分２５件の北海道遺産についてのＰＲ活動、③北海道遺産の所在地域の相互交流など、北海道遺産を核とした地域づくりの取組みを活性化する各種活動を展開した。

また、今年度は、協議会の安定的な自主財源の確保に向け、北海道遺産構想にご理解をいただいた企業・団体などを新たに「北海道遺産応援団」として位置づけ、協議会活動への資金協力や、それぞれの企業活動におけるＰＲなど様々な応援をいただいた。

こうした幅広い協力に支えられ、北海道遺産は道内外へのＰＲの場を得るとともに、ツアーや切手など北海道遺産をテーマとした商品も登場するなど、北海道遺産が北海道の新たな魅力の一つとして位置づけられ始めるとともに、北海道の活性化に向けた活動も開始された。

２　実施事業

（１）北海道遺産第２回選定候補の募集・選定作業

平成１６年度秋に新たな北海道遺産２５件程度を選定することから、その候補を広く募集した（募集期間　平成１５年６月１日～１２月３１日)。その際、応募用紙の作成・配付、新聞広告の掲載、各種イベントにおけるＰＲ活動を展開したほか、北海道遺産応援団を始め多くの企業や団体に、機関誌や報道の場などの様々な機会における応募促進にご協力をいただいた。この結果、応募総数９，１０７通（候補数１，３１１件）が寄せられ、それらの候補をもとに、協議会選定専門委員により１次選定作業を進め、３月２５日、第１次選定結果３５２件を公表した。

①募集チラシの作成・配付

応募資格、応募方法などを内容とした応募用紙を作成し、支庁、市町村、地域づくりグループに配付したほか、各種イベントなどで活用し応募促進に努めた。

作成部数９０，０００枚

②新聞広告の掲載

６月　７日　（全７段・北海道新聞）
８月２４日　（半５段･北海道新聞／絵手紙写真コンクール作品募集に併せて告知）
１１月３０日　（半５段・各北海道新聞）

③選定委員会の実施

第１回（４月２５日）、第２回（１１月１４日）、第３回（３月５日）

（２）　北海道遺産の普及啓発活動

北海道遺産構想や、北海道遺産を核とした地域づくりの取組み、第２回選定に向けた選考作業の進捗状況等について、広く情報発信するため、情報誌等のＰＲ資材の作成、ホームページの随時更新、道民参加型イベントとしての絵手紙・写真コンクールを実施した。

①　情報誌ＶＯＬ５の発行（３月・２万部）

応援団を始めとする企業・団体等による「北海道遺産」の活用事例や意見、今後の課題などを中心に、道内外に広く紹介する情報誌を作成。

②　ホームページによる情報発信

協議会活動や、北海道遺産についての報道、民間企業等における北海道遺産に関連した活動、地域の取組みなどを常に把握し、ホームページ上で情報発信した。（通年）

③　第２回北海道遺産　絵手紙・写真コンクールの実施

多くの方々に北海道遺産を訪れ、親しんでいただくため、昨年度に引き続き、北海道遺産を題材とした絵手紙・写真コンクールを実施した。厳正な審査の結果、入選した作品については、展示会を開催し紹介した。

＊なお、募集期間中、応援団の北海道地区三菱自動車グループが「夏休み北海道遺産ファミリーフォトコンテスト」を実施し、本コンクールの写真部門の応募促進にご協力いただいた。

募集期間　：平成１５年６月１日～９月３０日
応募総数　：絵手紙部門　１１７点、　写真部門　２８８点
入選作品　：各部門３０点（ｸﾞﾗﾝﾌﾟﾘ各１点、金賞各２点、銀賞各２点、自治体賞４点、三菱自動車賞１点）
展示会　：
・道庁赤れんが庁舎（11/8-11/9）
・留萌支庁ロビー（11/13-11/19）
・新千歳空港（11/22-11/24）
・北海道ﾌｫﾄｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝ 2003（11/28-11/30）
・札幌市地下鉄大通駅ｺﾝｺｰｽ（12/5-12/11）　など

④　ＰＲ用リーフレットの作成

北海道遺産を紹介するリーフレットを作成し、各種イベントなどで配付した。

・増刷　２万部　　・改訂版　２万部

（３）地域活動促進支援事業

北海道遺産の所在地域の相互交流を深め、保全・活用の手法を向上させるとともに、所在地域が中心となって構想を推進していく環境の整備に向けて具体的な検討を行うため、地域交流会議やアドバイザー派遣などを行い、ネットワーク形成に努めた。

① 北海道遺産交流会議の開催（7/4-7/5　上士幌町）

北海道遺産の所在地域が一堂に集まり、北海道遺産の活用事例や課題などを発表するとともに、開催地である上士幌町にある「旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群」を視察しその取組を学んだ。

また、この会議に参加した応援団企業・団体から、今後のより戦略的な活動に向けてアドバイスなどをいただいた。

② アドバイザー派遣

北海道遺産の所在地域等に協議会正会員等を派遣して、保全・活用の取組み状況などを確認するとともに必要なアドバイスを行った。

- 釧路ラーメンに対して北海道遺産認定証の授与及び必要なアドバイスを実施。（4/21・釧路市）
- ＮＨＫ文化センターの講座に参加し、道南の北海道遺産の所在地を中心に取組み状況を把握。（7/2-7/3・伊達市、函館市、上ノ国町、江差町）
- 「北海道遺産石狩川　歴史・文化伝承事業　鮭地びき網」に参加し、その取組み状況の把握及び懇談。（9/20、石狩市）
- 国際鉱山ヒストリー会議赤平大会に参画し、空知地域の取組みを確認するとともに、会議交流会において関係者と懇談。（9/27、赤平市）
- ピアソン記念館「六月の北見路」体験ツアーに参加し、ＮＰＯ法人ピアソン会の活動状況等を確認。(11/2-11/3、北見市周辺)
- 豊富町「サロベツお宝鑑定団報告会」に参加し、地域資源の活用方策について助言。（2/11、豊富町）

③ 北海道遺産の所在地同士の連携強化

- **北海道遺産メーリングリストの開設**

北海道遺産の所在地が情報を共有し、相互連携を図りながら情報発信や取組みを進めていけるよう協議会と各地域の担当者とのネットワークとしてメーリングリストを開設した。

- **「２００３北海道フェア　ｉｎ　代々木」(10/4-10/5　東京代々木公園)への参画**

協議会と北海道遺産の所在地域の連携による効果的なＰＲ方策の検討の一環として、首都圏を対象に北海道の観光、物産、魅力を紹介するイベントに地域と協議会が参画し、それぞれの地域のＰＲと、北海道遺産全体のＰＲを多角的に展開することにより、会場全体での北海道遺産の効果的なＰＲを試みた。

北海道遺産ブースの設置、オープニングセレモニーやイベントスクェアでの北海道遺産クイズの実施、京極のふきだし湧水の試飲コーナーの設置、「昭和新山国際

雪合戦」体験コーナーの設置、ラーメン横丁、らわんブキパラソルの設置、各ブースにおける北海道遺産紹介パネルの掲示など。

（４）応援団活動事業【自主事業】

北海道遺産応援団からの協賛金により、応援団企業や地域と一体となって、広く北海道遺産に親しんでいただくためのイベントの実施、北海道の魅力をＰＲする各種イベントへの参画などを通じて、北海道遺産を広く道内外に紹介した。また、応援団への新たな参加企業・団体の募集を年度を通じて随時行った。

①各種イベントにおける北海道遺産のＰＲ活動

▽「地域遺産フェスティバル　ｉｎ　北海道」　（6/21-7/6　上士幌町）
北海道遺産「旧国鉄士幌線ｺﾝｸﾘｰﾄｱｰﾁ橋梁群」周辺を舞台に開催された地域遺産の発掘や活用方策を考えるイベントにおいて、北海道遺産パネル展を実施

▽「夏休みは北海道遺産で北海道再発見！！」　（7/21-7/22　ＪＲ札幌駅西コンコース）
北海道地区三菱自動車グループとタイアップし、夏休みの旅行機会の促進等をねらいに、北海道遺産パネル展、各地域のパンフレット配付、第２回選定候補募集ＰＲ、絵手紙・写真コンクール作品募集ＰＲを実施

▽「赤れんがフェスタ」(7/28-8/3　北海道庁赤れんが庁舎)
広く道民や観光客に対し夏の北海道の魅力を紹介するイベントにおいて、北海道遺産パネル展、各地域のパンフレット配付、ビデオ紹介、選定候補募集ＰＲを実施

▽「フードランド北海道フェア　in　SAPPORO」(9/13,9/15　札幌大通公園)
道産食材を使った料理の提供、各地の観光・物産ＰＲを行うイベントにおいて、北海道遺産パネル展、選定候補募集ＰＲを実施

▽「北海道魅力フェア 2003」(9/20-21　大阪府豊中市)
関西圏を対象に北海道の観光、物産、魅力を紹介するイベントにおいて、北海道遺産パネル展、各地域のパンフレット配付を実施

▽東武宇都宮百貨店「北海道満喫ウィーク　北海道物産展」(9/23-9/30、宇都宮市)
北海道物産展において、北海道遺産パネル展、ビデオ紹介を行うとともに、栃木放送のラジオ番組に出演し北海道遺産を紹介

▽「2003　北海道フェア　ｉｎ　代々木」(10/4-10/5　東京都代々木公園)
首都圏を対象に北海道の観光、物産、魅力を紹介するイベントにおいて、北海道遺産パネル展示、各地域のパンフレット配付、京極のふきだし湧水の試飲、北海道遺産グッズ紹介を行うとともに、オープニングセレモニー及びイベントスクエアでの北海道遺産クイズ、「昭和新山雪合戦」体験コーナー、ラーメン横丁、らわんブキパラソルなどの企画を通じた会場全体での北海道遺産ＰＲを展開。入場者総数４０万人(2 日

間）　＜再掲＞

▽「2003　北海道フェア　ｉｎ　福岡ドーム」（10/11-10/13　福岡ドーム）
九州、中国地方を対象に北海道の観光、物産、魅力を紹介するイベントにおいて、北海道遺産パネル展、各地域のパンフレット配付、京極のふきだし湧水の試飲を実施

▽「おとなの文化祭 2003」（10/17-10/18　札幌ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝｾﾝﾀｰ）
北海道新聞社主催のイベントに参加し、北海道遺産パネル展、選定候補募集ＰＲを実施

▽「西村淳子　北海道遺産イラスト展」（10/28-11/3　札幌資料館ﾐﾆｷﾞｬﾗﾘｰ）
札幌在住のイラストレーター　西村淳子さんが制作した北海道遺産２５件のイラスト展に併せて北海道遺産パネル展、選定候補募集ＰＲを実施

▽「北海道遺産　絵手紙・写真コンクール作品展」（11/8-11/9　北海道庁赤れんが庁舎）
第２回北海道遺産　絵手紙・写真コンクールの入選作品 60 点及び北海道遺産パネルの展示、北海道遺産グッズ紹介を実施　＜再掲＞

▽「北海道遺産　絵手紙・写真コンクール作品展」（11/13-11/19　留萌支庁ロビー）
絵手紙部門のグランプリ作品（増毛小学校）の所在地である留萌支庁において、入選作品展示、選定候補募集ＰＲを実施　＜再掲＞

▽「北海道遺産　絵手紙・写真コンクール作品展」（11/22-11/24　新千歳空港）
新千歳空港ターミナルビル２階イベントスペースのクリスマスツリー前において、入選作品展示、選定候補募集ＰＲを実施　＜再掲＞

▽「北海道観光ビジネスフォーラム～ﾋﾞｼﾞｯﾄ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ･ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ」（11/28 札幌ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝｾﾝﾀｰ）
国土交通省が進めるキャンペーンの一環として北海道運輸局が中心に実施したイベントに参画し、香港と台湾の旅行代理店６３社１０５名に対して、北海道遺産をめぐるツアーの魅力について、プレゼンテーションを実施

▽「北海道フォトコンベンション２００３」（11/28-11/30　札幌ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝｾﾝﾀｰ）
北海道観光ビジネスフォーラムと同時開催されたイベントにおいて、絵手紙・写真コンクールの入選作品を展示。道内外のプロ、アマチュアの写真家や雑誌の編集者などを含めた来場者に北海道遺産を紹介　＜再掲＞

▽「北海道遺産　絵手紙・写真コンクール作品展」
（12/5-12/12　札幌市地下鉄大通駅ｺﾝｺｰｽ「ふれあい広場」）
札幌市の協力を得て、札幌市民等を対象に入選作品展示、選定候補募集ＰＲを実施　＜再掲＞

▽「北海道遺産展」（12/15-12/16　北海道庁１階ロビー）
北海道遺産パネル、絵手紙・写真コンクール入選作品の展示、ビデオ紹介、各地域のパンフレット配付、北海道遺産グッズ紹介、選定候補募集ＰＲを実施

▽「赤れんが冬　2004」(2/5-2/11　北海道庁赤れんが庁舎)

さっぽろ雪まつりの開催に合わせ、北海道の冬の魅力をＰＲするイベントにおいて、北海道遺産展を行い、北海道遺産パネル、絵手紙・写真コンクール作品の展示、各地域のパンフレット配付、北海道遺産を巡るツアーパンフ配付、北海道遺産グッズの紹介を実施

▽2003 年度北海道オータムキャンペーン「ごちパラ北海道」におけるＰＲ　(9/1-11/30)

北海道の秋の魅力を全国発信するキャンペーンにおいて、「ごちパラルート　おすすめモデルコース」に北海道遺産の旅 5 ルートを紹介

▽北海道・さっぽろの新しい観光資源プレゼンテーション　(9/1 名古屋、9/2 東京)

首都圏・中部圏の旅行代理店、旅行商品造成担当者などに対する説明会に資料を提供

②道庁赤れんが常設展示コーナーにおける展示(H15. 5 月～)

赤れんが庁舎内に北海道遺産常設展示コーナーを設置し、各遺産のポスターやＰＲグッズを１ヶ月毎に交替で展示

5 月　稚内港北防波堤ドーム　　6 月　ワッカ原生花園　　7 月　姥神大神宮渡御祭
8 月　留萌のニシン街道　　9 月　空知の炭鉱関連施設群
10 月　路面電車　　11 月　摩周湖　　12 月　アイヌ文様
1 月～2 月　昭和新山国際雪合戦大会　　3 月　旧国鉄士幌線ｺﾝｸﾘｰﾄｱｰﾁ橋梁群

③北海道遺産ポストカードの作成

北海道遺産を多くの方々に紹介するため、北海道遺産 25 件を描いた札幌市在住のイラストレーター　西村淳子氏の作品をポストカードとして作成した。

（２５種　各 3000 部）

④新聞広告の掲載

北海道遺産を全国にＰＲするため、旅行新聞に広告を掲載した。

⑤応援団活動の促進

(ア) 応援団活動を促進するとともに、新たな応援団企業を随時募集するため、応援団ロゴやマニュアルを作成し配付した。

(イ) 応援団については、４月以降、新たに「北海道地区三菱自動車グループ」「株式会社北酒連」が参画した。

(ウ) 応援団企業にかかるＰＲ

協議会事業として作成する各種ＰＲ資材などに、「北海道遺産応援団」に参加している企業・団体について積極的に紹介した。

・第２回選定候補募集チラシ　　・同新聞広告
・絵手紙写真コンクール募集チラシ　　・冊子「北海道遺産とまちづくり」
・北海道遺産ポストカードのケース　　・情報誌ＶＯＬ５　など

（５）市町村職員等向けテキスト作成事業

北海道遺産を例として取り上げ、市町村職員や地域づくり団体の方々に、地域ならではの宝物を活かした個性的な地域づくりの必要性と効果を理解し、実践してもらうため、北海道市長会、北海道町村会、北海道市町村振興協会の協力を得て、「北海道遺産とまちづくり」を作成した。（１２月　４６００部作成／北海道市長会、北海道町村会で購入）

（６）その他

① 協議会総会の開催（４月１１日）

平成１４年度事業報告、収支決算及び監査報告、協議会規約変更、平成 15 年度事業計画(案)、収支予算(案)について審議した。

② 拡大総会の開催（５月９日・「旬の蔵」）

北海道遺産応援団企業・団体及び協力団体など、北海道遺産関係者が一堂に会し、北海道遺産の取組みについて意見交換を行った。

③ 協議会理事会の開催（４月１１日、８月９日、３月９日）

総会付議事項、平成１５年度事業実施状況の中間報告などについて審議を行った。

④ 賛助会員の募集（通年）

各種事業実施に合わせて、随時、賛助会員の確保に努めた。